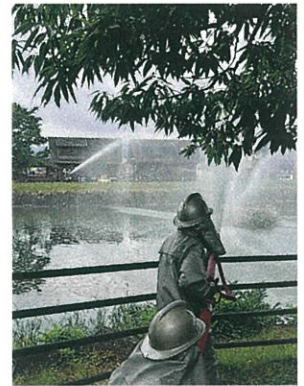


熱き5月、いざ実践の頂へー動き出す五の力

5月18日（日）に5月の定例訓練を実施しました。今回の訓練は、6月に美濃加茂市で開催される「実践想定訓練」に向けたもので、これまでの操法訓練よりもさらに現場を意識した実践的な内容です。当日は、4月に入団した新入団員を含め、多くの団員が参加。天乳池を火点に見立て、出動から現場活動、撤収までの一連の流れを確認しました。訓練中は団員同士で積極的に声を掛け合い、動きの確認や安全確保の工夫についてその場でフィードバックを行い、改善を重ねました。この日は、前日より7度も高い29.6度を記録する真夏日でしたが、厳しい暑さの中でも、団員一人ひとりが集中力を切らず、真剣に取り組む姿が印象的でした。今回の実践想定訓練は競技形式となっており、日頃の訓練の成果を発揮する絶好の機会です。



真夏日さながらの熱気の中、団員たちが交わした汗と言葉は、確実に“実践の頂”へと続く道を切り拓いています。挑戦のその先にあるのは、勝利ではなく、誇り。次なる舞台でも、私たちは仲間と共に、一歩ずつ高みを目指します。



第46回美濃加茂市消防団実践訓練

とき 6月22日 3時30分～ 場所 牧野ふれあい広場

当日は、市内各地から多くの消防車両が集まり、臨場感ある訓練が行われます。現場の様子はどなたでも自由にご覧いただけますので、地域の皆さまもぜひお気軽にお越しください。お子様と一緒に消防車を間近で見たり、私たち第5分団の活動を応援していただけると励みになります！

もしも、はいつもそばにある。～雨の日こそ“しない勇気”～

6月、雨の季節がやってきました。田畑を潤し、自然を育む大切な恵みである一方で、近年では豪雨や土砂災害のリスクも高まっています。「自分は大丈夫だろう」そう思いたくなる気持ちはよくわかります。しかし、私たち消防団は、日々の活動の中で「まさかこんな場所が」という現場に幾度となく立ち会ってきました。雨天時には絶対に避けていただきたい行動があります。リスクを避けるためにも確認しておきましょう。

増水した用水路や河川は見に行かないこと

足を滑らせたり、水かさが増す可能性があります。大人でも、30cm程度の水深でも溺れる可能性があります。

冠水した道路を無理に歩かない・車で進入しないこと

特にアンダーパスは冠水しやすく、車ごと水没することもあります。

スマホで撮影するために危険な場所へ近づかないこと

雨で地盤が緩んでいる可能性があり、大変危険です。

土砂崩壊の恐れがある斜面や山道には近づかないこと

「ちょっと様子を見に行くだけ」その一歩が、大きな事故につながる可能性があります。災害は、防ぎきれないこともあります。ですが、“行かない”“やらない”という選択で、守れる命は確かにあります。

